

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方
【山滝校区】(R3 4/19更新分)

Q1 大沢町の児童は、現在南海バスを利用して通学している。(仮称)山滝小中一貫校になると、大沢町の児童もスクールバスに乗るようになるのか。

A スクールバスについては、今後、地域・保護者の皆様のご意見を踏まえ、(仮称)学校開校準備委員会で運用ルートや運行時間などの詳細について検討していきます。

なお、地域ごとの利用人数によっては、ワゴンバスやタクシーといった選択肢も考えられるところであり、様々な選択肢の中から、より良い方法を検討していきます。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方
【山滝校区】(R3 4/19更新分)

Q2 認定こども園まで含めると、現在の山滝中学校では十分な広さを確保できないのではないかと。

A 建替えを行う校舎の高層化や、教室レイアウトの工夫等により、現在の山滝中学校で、必要な広さを確保できると考えています。

今後、計画が確定した段階で、園児、児童生徒の安全面を最優先に、レイアウトの設定や校舎の設計を進めてまいります。

これまでにいただいたご意見・ご質問とそれに対する教育委員会の考え方
【山滝校区】(R3 5/10更新分)

Q3 山滝校区外から特認校制度を利用して通学する児童生徒についてはスクールバスが導入されるのか。それとも、路線バスや、保護者の送迎等による通学になるのか。

A 特認校制度については、市全域からの通学を可能とする制度であるため、仮にすべてのエリアをスクールバスでカバーするとなると、広範囲の運行となり長時間の乗車を余儀なくされることや、多くの車両台数が必要となることから、導入は困難であると考えています。

そのことから、現在の東葛城小学校での運用と同様、保護者による送迎や、路線バスによる通学を想定しています。